

保健主事部会



研究テーマ

自らの健康を守るとともに、身の回りの人々の健康にも働きかけることができる児童生徒を育成する授業や教育活動の工夫

～保健主事のマネージメントと、

三師会との連携による健康教育の在り方～



揖斐郡保健主事部会

研究仮説



保健主事の

紀要P10

マネジメント

と

三師会との連携

ポストコロナの時代を生きる児童生徒に

自ら生き抜く力

を身につけさせること

「自ら生き抜く力」

研究仮説

保健主事の役割を明確にして実践を進めるとともに、三師会との積極的な連携を図ることで、学校における効果的な保健指導の在り方や道筋を明らかにすることができる。それらを、本研究やこれからの保健指導に生かすことで、主体的に自らの健康を守るとともに、身の回りの人々の健康にも意識をもったり、働きかけたりすることができる児童・生徒を育成することができる。

保健主事の

紀要P11

7つの役割



「自ら生き抜く力」

健康教育の推進に係る保健主事の役割

- ①児童生徒や学校の実態、課題の把握
- ②授業案や指導内容の提案
- ③講師との連絡調整
- ④資料等の準備、授業者への情報提供
- ⑤実践の振り返りと評価
- ⑥家庭や地域への情報発信
- ⑦事後の見届けと、担任や養護教諭と連携した指導、指導の継続

令和3年度

共通実践

紀要P11

正しい手洗い



正しい手洗いの授業

学習のねらい

- ①手洗いの大切さを理解し、これまでの手洗いの仕方を見直し、正しい手洗いの仕方を身に付けることができる。
(情報を理解する力)
- ②学んだことを家族に伝え、家族の健康の維持に貢献することができる。
(情報を発信するための力)
- ③手洗いの実践を通して、他の感染症やコロナに代わる新しい感染症から自らの健康を守る「自ら生き抜く力」の育成を図ることができる。
(情報を活用するための意欲・力)

「正しい手洗い」の授業実践に係る保健主事の役割

①児童生徒や学校の実態、課題の把握

事前アンケートに基づく、手洗いの実態と課題の把握

②授業案や指導内容の提案

「正しい手洗い」授業案の立案 指導内容の提案

③講師との連絡調整

外部講師への依頼、日程調整、指導内容の打合せ

④資料等の準備、授業者への情報提供

教具、指導資料の準備 指導用動画資料の作成

⑤実践の振り返りと評価

事後アンケートの実施と実践の評価 事後の実態に基づいた指導の立案

⑥家庭や地域への情報発信

保健だよりや学校だよりへの記事の掲載 学校保健会での公表

⑦事後の見届けと、担任や養護教諭と連携した指導、支援の継続

指導の継続 保健委員会等による「3020洗い」の推進

実践のマネジメント

- ・実態や課題の把握
- ・指導内容の提案
- ・講師との連絡調整
- ・養護教諭や担任との連携した指導と指導の継続

手洗いの実態（質問）

手洗いアンケート（児童・生徒）

- 問1：学校で、体育や外遊びから戻った時に、手洗いをするか
 ①いつもする ②どちらかというとする ③どちらかというとしない ④していない
- 問2：外から家に帰ったときは、手洗いをするか
 ①いつもする ②どちらかというとする ③どちらかというとしない ④していない
- 問3：手洗いにはどれくらいの時間をかけているか
 ① 1分以上 ② 30～1分 ③ 30秒くらい ④ 15秒くらい
- 問4：手を洗うときは、石鹸を使うか
 ①いつも使う ②どちらかというとする ③どちらかというとしない ④使わない
- 問5：家ではアルコールなどの薬剤で手指の消毒をしているか
 ①いつもする ②どちらかというとする ③どちらかというとしない ④していない

手洗いアンケート（家庭）

- 問1 日常、家庭では、家族の皆さんは手洗いをしていますか
 ①いつもする ②どちらかというとする ③どちらかというとしない ④していない
- 問2 帰宅時に、家族の皆さんは手洗いをしていますか
 ①いつもする ②どちらかというとする ③どちらかというとしない ④していない
- 問3 家族の皆さんは、手洗いにはどれくらいに時間をかけていますか
 ① 1分以上 ② 30秒～1分 ③ 30秒くらい ④ 15秒くらい
- 問4 家族の皆さんは、手を洗うときは、石けんやハンドソープを使いますか
 ①いつも使う ②どちらかというとする ③どちらかというとしない ④使わない
- 問5 家庭では、アルコールなどの薬剤を準備し、手や指の消毒をしていますか
 ①いつもする ②どちらかというとする ③どちらかというとしない ④していない

手洗いの実態（事前調査）

紀要P12

児童・生徒の実態（揖斐郡） (%)

問1	58	29	7	6
問2	70	17	6	7
問3	13	30	34	23
問4	74	19	4	4
問5	31	28	17	25

- ・ 正しく手洗いをする習慣がついている児童生徒の割合がそれほど高くない

家庭の実態（揖斐郡） (%)

問1	78	19	2	0
問2	81	16	3	0
問3	5	30	44	21
問4	73	21	5	1
問5	22	40	27	12

- ・ 手洗いの習慣が定着しているが、十分な時間をかけて正しい手洗いができているとはいえない

正しい手洗いの実践

紀要P12



- 手についた汚れ、病気の原因となる種々のウイルスや菌が食物に移り、口から体内に入って病気が発症する。
- 手で目をこすったり鼻をほじったりするときに、粘膜をとおして感染することもある。

手洗いチェッカーローションを塗った手にブラックライトを当てると…



正しい手洗いの実践

紀要P13

普段の手洗い後



普段行っている手では、指先やつめの間、指の股はもちろん、手のひらや手の甲、手首にも汚れが残っていることが分かった！

- 汚れが残っている部位を、特によく洗うこと。
- 30秒以上の時間をかけて石けんで隅々まで洗い、流れる水で20秒以上しっかりと洗い流す『3020洗い』をすること。



正しい手洗いの実践

紀要P13

リベンジ洗い



1. 30秒以上の時間をかけて石けんで隅々まで洗い、流れる水で20秒以上しっかりと洗い流す

『3020洗い』

2. 正しい手洗いこそが一番の消毒

『消毒の一番は、正しい手洗いから』

手洗いの実態（事前・事後調査）

紀要P14

児童・生徒の実態（揖斐郡集計） (%)

	① ◎	② ○	③ △	④ ▲
問 1	58	29	7	6
	76	16	4	4
問 2	70	17	6	7
	77	17	4	2
問 3	13	30	34	23
	35	37	18	10
問 4	74	19	4	4
	80	16	3	2
問 5	31	28	17	25
	42	25	14	19

家庭の実態（揖斐郡集計） (%)

問 1	78	19	2	0
	80	19	1	0
問 2	81	16	3	0
	83	15	2	0
問 3	5	30	44	21
	14	33	38	14
問 4	73	21	5	1
	78	19	3	1
問 5	22	40	27	12
	27	40	22	11

* 上段：授業前 下段：授業後の結果

正しい手洗いの実践

紀要P15

ICTの活用



正しい手洗いの実践

紀要P15

A中学校：ICTを活用した手洗い授業

○保健主事の役割

④資料等の準備、授業者への情報提供

歯科医師による指導用動画の作成



- ・多忙な三師会の先生方の来校回数や拘束時間を縮減できる。
- ・全校あるいは複数の学級が一斉に学習を行える。
- ・貴重な教材として何度も活用できる。

感染症予防の実践

紀要P15

歯みがき指導



正しい手洗いの実践

紀要P15

B 小学校：歯みがきによる感染症予防

○保健主事の役割

①児童生徒の実態の把握

歯磨きと風邪り患児童の実態

⑥家庭や地域への情報発信

「保健だより」を作成し発行

④資料等の準備、授業者への情報提供

歯科医師による指導用動画の作成

⑦事後の見届けと、指導の継続

半年後の実態調査



歯磨きを正しく行って口の中をきれいに保たないと、インフルエンザや風邪、コロナなどのウイルスが入りやすくなる。時間をかけて丁寧に歯磨きをすることは病気をなくすことにもつながる。

正しい手洗いの実践

紀要P17

ポスター一配付



手洗いポスターの作成と家庭への配付

紀要P17



- ・揖斐郡医師会並びに薬剤師会の指導、助言をいただいたとき、汚れが残りやすい部位を取り上げ、正しい洗い方を写真付きで解説した。
- ・低学年、高学年用を作製。大判ポスターを学校に配付し、教室や手洗い場などの、児童生徒が意識しやすいところに掲示した。
- ・自宅に持ち帰って、家族が意識できる場所に掲示することを指示した。



令和4年度 学校課題に沿った

新しい実践



令和4年度

学校の課題に沿った新しい実践

学習のねらい

- ①「自らの命や健康を、進んで守ろうとする意識を高める」心や態度の育成を図る「正しい手洗い」の継続的指導
- ②児童、生徒から全校児童、生徒へ、児童、生徒から家庭や地域への情報発信
- ③「自らの命や健康を進んで守ろうとする意識を高める」ための新しい指導実践

* 三師会との連携（参画、指導、助言）に基づいた実践

* 保健主事の役割を明確にした実践の推進

新しい実践

紀要P18

紀要P19

正しい手洗い（継続）



A 小学校：正しい手洗いの実践（継続）

○主な保健主事の役割

③講師との連絡調整

⑥家庭や地域への情報発信

第1回学校保健安全委員会で、実践を発表 薬剤師からの指導



- ・体の中にばいきんを入れないためには正しい手洗いをするのが大切なこと、また、寒い時期の方がばいきん（ウイルス）が元気になるため、水が冷たくても手洗いを確実に行うこと。
- ・ウィズコロナでは、手洗いが基本。日常生活での手洗いを徹底すること

B小学校：正しい手洗いの実践（継続）

紀要P19

○主な保健主事の役割

講師との連絡調整

資料等の準備、授業者への情報提供

学校薬剤師へのインタビュー動画を作製 ⇒ 一斉指導を実施



- ・ ばい菌が付いた手で目や口を触ったる食べ物を食べたりすると、体の中
にばい菌が入ってしまっ、いろいろな病気になる。
- ・ 汚れが付きやすいところを知って、手洗いポスターを見ながら、正しい
手洗いに心がける。
- ・ 夏休みは、規則正しい生活に心がけることが大切。



学校薬剤師
山田 由郁里

新しい実践

紀要P19

効果的な換気



C小学校：換気と感染症の予防

紀要P19

○主な保健主事の役割

④資料等の準備、授業者への情報提供

薬剤師の監修によるイラスト資料の準備 職員への伝達講習

⑥家庭や地域への情報発信

保健だよりを発行して、学習したことを家庭に周知



- ・ 閉め切った部屋の空気が汚れ、いろいろなウイルスや細菌などが飛んでいる。
- ・ 換気をすることで空気の汚れが改善されていく。
- ・ 家庭の換気についても考えていただくと大変ありがたい。

C小学校：換気と感染症の予防

『ほけんだより』

ほけんだより

山口県立十大学校図書
10231101 高子理子

今年の春は、「換気」です。また7月、9月、11月の各月、「換気」の中心とします。今年の特徴は、学校全体の子ども中心の企画です。子どもから聞いています。毎週は校内放送を通じて、子ども達に発信していくので「イラストも音楽も楽しい」。「換気の目的」「換気の方法」は、子ども達が自ら考えて、発表の場から発表していきます。

換気をしないと、どうなるの？

換気をしていないと…

換気をすると…

つまり、換気を、していないと…

かぜ・インフルエンザ、コロナなどのウイルスが、空間に集まり集まることとなります。

換気の効果的ポイント

換気以外でも自分でできること

こまめに窓を開ける

シーツの入れ替えは

換気は定期的に行う

換気（よくよく）

私は学校全体の子ども中心です。子ども達とこども学校生活の中で一人ひとりが活躍できるように思っています。そして、毎週放送に、いつでも発表の場を設けていきたいと思います。

児童の感想より

- ・行っている窓の中を通りかかるといいので、換気したい。
- ・換気は換気室行って、キレイな空気に換気したい。
- ・人との接触を減らして、換気をするように行きたい。
- ・換気をしていけば、ウイルスが窓の中に入らないで済みます。
- ・換気は定期的に換気室に行かなくても、換気する場所を自分で決めた。
- ・換気の場所を自分で決めた。換気する場所を探したい。

保護者の感想より

- ・換気の効果を知った。換気する前に家で換気してあげてほしい。
- ・日に換気する場所がいっぱいあるので、換気する場所を知りたい。
- ・家で換気すると、換気室の換気する場所を知りたい。
- ・換気する場所を知りたい。換気する場所を知りたい。
- ・友達同士でしゃべっていると、換気室に行くようにしてほしい。
- ・家で換気する時も、換気室の換気する場所を知りたい。
- ・換気する場所を知りたい。換気室の換気する場所を知りたい。
- ・お母さんの換気室で、換気する場所を知りたい。
- ・今年以上に、換気室の換気する場所を知りたい。
- ・お母さんの換気室で、換気する場所を知りたい。

今年の特徴「換気」の中心です。子ども達とこども学校生活の中で一人ひとりが活躍できるように思っています。そして、毎週放送に、いつでも発表の場を設けていきたいと思います。

今年の特徴「換気」の中心です。子ども達とこども学校生活の中で一人ひとりが活躍できるように思っています。そして、毎週放送に、いつでも発表の場を設けていきたいと思います。

新しい実践

紀要P20

マスクの効果と 熱中症予防



D小学校：マスクの効果と熱中症予防

紀要P20

○主な保健主事の役割

①児童生徒や学校の実態、課題の把握

暑い中でもマスクを外そうとしない児童の熱中症の危険

④資料等の準備、授業者への情報提供

指導のシナリオ 指導資料の準備 指導への参加



- ・暑い季節には、熱中症を予防するためにマスクを外すことも必要
- ・自分で正しい判断をしてマスクの着脱ができるようにする
- ・コロナ感染症の予防に努めるために、マスクを外した時には守らなければならないことがある

新しい実践

紀要P22

部活動における 熱中症と感染対策



E中学校：部活動における熱中症と感染対策

紀要P22

○主な保健主事の役割

①児童生徒や学校の実態、課題の把握

薬剤師の監修によるイラスト資料の準備 職員への伝達講習

④資料等の準備、授業者への情報提供

指導資料の作成



- ・マスクの感染防止効果は高く、日常生活にはマスクは欠かせない。
- ・運動時にマスクを着用することでマスク内の温度は3℃以上上昇する。
- ・口からの熱の発散を妨げたり、口の渴きを感じなくなるために、塩分や水分補給が不十分となったりして、熱中症のリスクが高まる。

研究の**成果と課題**



- ・ 揖斐郡のスタンダード
『消毒の一番は、正しい手洗いから』 『3020洗い』
- ・ 保健活動及び健康教育を推進する上での、保健主事の役割とマネジメントの在り方
- ・ 三師会の先生方やその他外部講師との連携や指導への参画
- ・ 三師会や家庭との連携を大切にした、各校での指導の継続